

**\*肝炎ウイルス検査\***

採血検査により、C型肝炎またはB型肝炎に感染しているかどうかを調べます。結果が陽性（+）の場合、ウイルス性の肝炎や急性肝炎・慢性肝炎・肝硬変・肝がんなどがあります。

**\*大腸がん検診\***

便を2日分採取し、潜血の有無を調べます。

口から、食道・胃・腸を経て、直腸・肛門に至る消化管のどこかに出血があれば、潜血反応が陽性（+）になります。最近、多くなってきている大腸がんの早期発見に威力を発揮しています。

**\*胃がんリスク検診（ABC検診）\***

採血検査により、ピロリ菌感染の有無や胃粘膜の萎縮度を調べ、胃がんになりやすい状態かどうかを調べます。胃がんを直接見つける検査ではありません。

ピロリ菌感染によって、胃粘膜の萎縮が進むほど、胃がんが発生しやすくなります。

**\*胸部検診\***

胸部のレントゲン撮影をして、肺や心臓の状態を調べます。

呼吸器系では肺結核・肺がんの早期発見、循環器系では心臓肥大・大動脈の硬化などの発見に役立ちます。

**\*喀痰検査\***

3日間朝一番のたんを溜めていただき、呼吸器の異常を調べます。

気管支炎・肺炎・肺化膿症・肺水腫・肺結核・肺がんなどの発見に効果があります。

**\*子宮がん検診\***

検査を行う部位はけい部(子宮の入り口)と体部(子宮の奥)の2ヶ所です。

いずれも細胞を採取して、細胞の異常を調べます。頸部では子宮けいがん、体部では子宮体がんの発見に役立ちます。若年層でも発病率が高くなってきているため、定期的に検査をされることをお勧めしています。

**\*乳がん検査（マンモグラフィー）\***

乳房を片方ずつ、X線フィルムを入れた台と透明な板ではさみ、乳房を圧迫しレントゲン撮影をします。医師の視触診だけでは発見できない、約0.1mm～0.2mmレベルの微小石灰化や腫瘍描出が可能となり、乳がん早期発見に絶大な威力を発揮しています。他に、乳腺症・乳腺繊維腺種も発見できます。